

パブリックコメントについて

山本理事長の学会運営展望について、常任理事・理事の承認を得て、会員の皆様にパブリックコメントを求めることとなりました。

山本理事長の学会運営展望は以下の通りです。

**【山本理事長の学会運営展望】**

1. 学際性を活かした組織の充実

(1) 学会員の増強について

⇒①本学会の学際性を活かして、若手研究者の登竜門として、若手研究者の増加を図る

⇒戦術として、「研究」発表の場を求めている多学会の指導教授に本学会を広報する

⇒経過：いくつかの学会（相手方の学会の都合で具体的な名称は公開しません）から若手研究者および指導教授の入会の打診がなされている

⇒②本学会の学際性を活かして、異なる専門分野の研究者・実践者の研究を通じた交流の場の拡大

⇒戦術として、いくつかの学会の理事と面会し、学会の共同開催、学術交流会の開催等を打診

⇒いくつかの学会が理事会段階で検討がなされている

⇒③研究の充実を礎にして、研究者と実践者の交流の場の拡大

⇒戦術として、行政・医療・福祉・教育等の現場の実践者に本学会を知っていただき、地区会および情報交換会等への積極的参加を促すことにより、お互いの垣根を越えた交流を図る場を設定している。

⇒このことにより、実践者会員の入会申込み及び問い合わせが増加している

2. 理事会の対応について

学会の「研究力」強化を目指し、会員に「研究」の意義・目的・効果を自己実現の指針にするために学会名を「日本人間関係学会」から「日本人間関係研究学会」と変更する検討。

上記運営展望に関しまして、以下のパブリックコメントをいただきました。2名の会員からのパブリックコメントをいただきました。

**【学会名変更に関する賛成意見】**

学会名を「日本人間関係研究学会」に修正することに対しまして、最初は研究学会ということで研究会と誤解（混同）されないか少し心配しました。しかし、ネットで検索しますと、「日本看護研究学会」、「看護教育研究学会」、「PL研究学会」、「工業経営研究学会」それに「日本観光研究学会」など多数あり、研究学会で何ら問題ないということが分かり

ました。

それに、学会名を修正しようとする趣旨の説明を読みますと、4つの理由のいずれも納得のいくものであり、「日本人間関係研究学会」に名称を変更することに全面的に賛成いたします。

ただし、学会名の修正としますと、「よくない点を改めること」、「不十分・不適當と思われるところを改め直すこと」とのイメージを持たれる可能性があります。今までの学会名で、問題が生じてきているとしても、よくない点、不十分・不適當なことがあったわけはありませんので、より良くするための、単なる変更（名称変更）でいいような気がします。

#### 【パブリックコメントに対する回答】

- ① 「山積する課題と学会名変更の因果関係がよく分からない。変えないとその課題は解決されないものか？つまり変えれば解決すると言う根拠はどこにあるのか？」という質問がありました。

回答：上記のように学会員を增強し、他の学会と連携をする上で「研究」の重要性を打ち出しました。「名は体を表す」との諺もありますように、学会の指針の明確化・会員の学会での行動目的、学会のビジョナル運営の目的から学会名に「研究」の文字の追加を提案しました。また、現在曖昧な英文名に ACADEMY を加え、国際的に通用する名称を検討しました。

- ② 「学会名を変更することは、実践者の活動を軽視するものではないのか？本学会の研究者と実践者の多様性を阻害するものではないのか？」との質問がありました。

回答：「研究」を重視することが、実践者の利益を害するとは、考えません。

研究の充実は、研究者にとっても実践者にとっても、それぞれの職務において有効であると考えます。二者択一的な考えは、実践者は、研究と無縁のような誤解を与え、実践者に対して失礼だと考えます。例えば、認知症ケアにあたる実践者にとって、新しい研究による新しい知識は、これからの職務を通じた自己実現に役立つものであると考えます。

- ③ 「アカデミズムはすでに学術会議協力研究団体に認められているので担保されている」というご意見がありました。

回答：一部の研究者にとっては、上記の質問は理解できます。しかし、多様性を有する本学会の多くの会員が「学術会議協力研究団体」を知っているでしょうか？また、本学会と関わる一般の人々が上記の名称を知っているでしょうか？名前は印象に直結します。それゆえに、一部の専門家のみが理解できる担保項目を理由に「研究」という名称を排除する

ことは妥当とは考えません。

④「類似する名称団体があるが、それが学会名称を変える本質的な議論となりえるのか」という質問がありました。

回答：類似学会の研修等で本学会の運営と混乱する事例が発生しています。また、本学会は学会の公認資格を発行する予定がありますから、混乱を最小限にする目的から学会名に「研究」の文字を加えることを提案しました。

⑤「パブリックコメントはどう反映さえるのか、手続きを明らかにすべき」というご意見をいただきました。

回答：パブリックコメントは、事務局で集計し、公開に馴染まない事項を検討した上で、理事長が回答し、HP 掲載を予定しています。

⑥「最終判断は、執行部だけで行うのか？一般会員の判断を取り入れるべきでは？[賛否の投票]」という質問がありました。

回答：パブリックコメントを得た上で、判断します。賛否投票は予定していませんが、反対意見が多いときには、撤回致します。会員 1 名から反対意見がでています。